

Market Weekly

Date

Date

Date

2021/11/22

2021年11月29日

前前 市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1032.50	2021/11/22
High	1143.54	2021/11/22
Low	951.98	2021/11/26
Close	958.18	2021/11/26

円/グラム

Price

円建て

Platinum

ドル建て

Palladium

Palladium

Open

Open	3784.00	2021/11/22
High	3829.00	2021/11/22
Low	3474.00	2021/11/26
Close	3485.00	2021/11/26

ドル/TOZ

Price

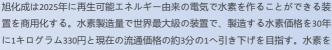
Open	2060.00	2021/11/22
High	2080.00	2021/11/22
Low	1702.00	2021/11/26
Close	1750.00	2021/11/26
円建て 円/グラム		

Price

7541.00

High	7628.00	2021/11/22		
Low	6205.00	2021/11/26		
Close	6364.00	2021/11/26		
□ ニュースエクスプレス				

水素製造量が世界最大級の装置 旭化成、25年商用



水素製造装置が担う。

がるか

化

活用した事業の採算が見込みやすくなり、脱炭素のカギを握るとされる水素供 給網の整備が進む可能性がある。

売り込む。 大型装置の量産を進めることで、現在1キロワットあたり20万円とされる装置 価格を30年に5万円に下げる。水素価格を流通価格の3分の1程度に抑えられ、 政府が水素普及に向けて掲げる30年目標と同程度になる。 旭化成は複数の装置をつなぐ技術開発も進め、20年代後半には100メガワット 規模に大規模化する計画だ。

https://www.nikkei.com/article/DGKKZO77853740V21C21A1EA2000/?unlock=1

脱炭素の流れを受けて水素需要は拡大が見込まれており、その供給網の中核を

旭化成は福島県で、水素の製造量を決める最大出力で10メガワットの装置の実 証実験を実施しており、これを基に25年から受注を始める。欧州や中東などに

PGM 鉱山各社が財政状況の強化と分散に乗り出す中で、南アフリカでは合併 吸収 (M&A) と休眠鉱山への投資が活発化している。ノーザム・プラチナは、イ ンパラ・プラチナム(IMP)が取得すると公表されていた Royal Bafokeng Platinum (RBP) 株を32.8% 、さらには34.9%にまで増やす権限付きで取得した。これによ

り、ノーザム・プラチナは地表から近くて深度が浅く寿命の長い鉱山を手に入 れ、将来はそれも合わせた業務展開ができる可能性がある。RBP はブッシェ フェルト複合岩体の西側リムに BRPM と Styldriftという二つの鉱山を運営して

合併吸収と投資拡大、将来のPGM供給の増加につな

おり、プラチナを多く含むメレンスキー鉱山は年間約8.1トンのプラチナを産 出する。Styldrift 鉱山は機械化が進んだ新しい鉱山で安定操業に向かっている。 ノーザム・プラチナの年間精錬プラチナ生産は12.4トン以上である。 Heraeus Precious Appraisal

プラチナ (白金) の供給過剰が長引く可能性が出てきた。調査機関のワール ド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) がまとめた世界の需

鉱山生産の回復や投資需要の減少などで、9月時点の予測に比べ供給超過の幅

白金、21~22年に供給超過 生産量回復で

給見通しによると、2021年は24トンの供給超過になる見通しだ。

 $\underline{\text{https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB24CRR0U1A121C20000000/?unlock=1}}$

が18トン広がる。22年も20トンの供給超過になるとした。

20年は28トンの需要超過だった。21年の鉱山からの供給量は前年比25%増える。 新型コロナウイルス禍や鉱山トラブルで20年に生産が減った反動で、大幅に生 産が回復する。リサイクルも含めた総供給量は252トンと前年を40トン上回る 見诵しだ。 需要は5%減少し228トンになりそうだ。投資需要が85%減の7トンに落ち込むこ とが大きい。配当利回りの高い白金鉱山会社の株式に投資人気が集まり、白金 の上場投資信託 (ETF) を売却する動きが出た。自動車触媒向けも、半導体不 足による自動車減産などで振るわない。 22年の総供給量は256トンを見込む。総需要は21年より増加するものの236トン にとどまりそうで、供給超過が続くとみられる。

WPIC直近の活動

先週、WPICは2021年Q3のQuarterly を発表し、 2021 年通期および 2022 年第1四半期の予測が修正された。2021年と2022年のプラチナは余剰。 在庫取り崩し、供給量増加、投資の低迷が旺盛な需要を相殺。詳しくは

Translated by Kazuko Osawa, JBMA

https://platinuminvestment.com/files/832946/WPIC_PR_PQ_Q3_2021_20211 124 JA.pdf

下記のリンクからご覧ください。



解釈されるべきでもありません。



